

隠れた奈良の魅力再発見

とっておきの奈良

vol.6

「茶の文化」を次代へ 自治都市の気風は健在



「今井の“宝物”を探せる子になってほしい」と
会員たちは町への愛着を次の世代に伝えている。
(右から4人目が会長の西川さん)

「あつ、燃えてきた」。竈かまどの前の子がほっとした様子で火吹竹ひふきたけを口元から離すと、釜はベテラン主婦たちに引き継がれます。江戸時代以来の伝統的な町並みが連なる橿原市今井町。その一画にある旧米谷家住宅(国指定重要文化財)に3月初め、卒業を控えた今井小6年の有志が先生、保護者、保存会の人らと茶粥を作って味わいました。

茶粥は町民の暮らしに溶け込んでいた大和の日常食。今井町は安土桃山時代に活躍した茶人・今井宗久いまい そうきゅうゆかりの地でもあり、茶粥体験会はそんな町に根付いた茶の文化を伝えようと開かれています。明日香村産の米を大和茶で炊き、赤膚焼の器に注いだ茶粥には吉野杉の割り箸を添えるなど、「ほんまもん」にこだわります。

第13回 今井町並み散歩

とき 5/18(日) 9:00～夕刻まで

六斎市は9:00～16:00

茶行列は10:00～、14:00～

所 橿原市今井町一帯

問 今井まちづくりセンター ☎0744-22-1128

アクセス/近鉄八木西口駅から南西へ約500m

駐車場/有(台数に限り有)

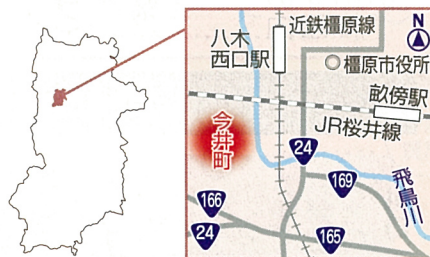
今井町並み散歩では、時代装束をまとった「茶行列」の一行が町並みを練り歩く。平城遷都1300年祭に向け、茶の文化をキーワードに、イベントを模索中。



寺内町として、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された今井町の町並み。大半の民家が江戸時代以来の伝統的様式を守り続けている。

橿原市今井地区

今井町町並み保存会



会員たちは手作りの箸袋しほぶきを用意し、子どもたちを歓迎。体験会では掃除も一緒にして、客人のもてなし方を学んだ。



「奈良もてなしの心推進県民会議」では、生き生きとした生活や交流を育むまちづくりを実践している地区を、「もてなしのまちづくりモデル地区」として認定。橿原市今井地区もその一つです。